

水の有効利用促進事業

[455]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0104	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	01	安心な水の供給による信頼される水道（安全）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	市内水道利用者	水の有効利用に協力してもらうための啓発活動を行う。 水道週間(6/1~7)、水の週間(8/1~7)に ・6月に水源地等の水道に関する施設見学を実施する。 ・8月に木曾川上流域との交流事業を実施する。 ・庁舎及び配水場フェンスに横断幕、尾張旭駅南北線エレベーター棟外壁に懸垂幕を掲示する。 ・水道水の缶(県企業庁からの配布物品)を配布する。 ・広報誌に記事を掲載する。 ・市内主要施設、小中学校にポスターを配布、掲示する。
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
当市の水道水は、全て愛知用水水道からの受水であることを理解してもらい、水の有効利用についての意識を高める。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 水源地見学等に参加した人数	人	68	72	80	0	
	B 広報誌への記事の掲載回数	回	4	4	4	2	
成果指標	C						
	D						
事業費 計			524	350	631		
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	524	350	631	

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	一人一日平均水量対前年度比3.6%上昇しているものの、毎年低い水準を保っている。引き続き、啓発事業を継続し、水道に関する理解の促進を図る。
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

上水道施設維持管理事業

[452]

水道事業会計

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0202	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要（目的、手段）

事業目的と概要 (02年度分)	対象（誰、何に対して事業を行うのか）	手段（事務事業の内容、やり方、手順）
	・水道利用者 ・上水道施設	<上水道施設> 上水道施設管理センター、柏井・旭ヶ丘配水場、南山・吉岡・桜ヶ丘調整池等及び配水管 ・水道法に基づく水質検査の実施（検査機関に委託） ・上水道施設の保守管理 （定期巡回、24時間遠方監視及び異常時対応業務を専門業者に長期委託） ・上水道施設の防犯監視 （24時間防犯監視及び異常時対応業務を専門業者に長期委託） ・上水道施設の保守点検 （電気機械設備等の点検を専門業者に委託） ・上水道施設の補修（修繕） （点検・調査結果及び修繕計画に基づき実施）
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	
・安全で安定した水を供給するため、上水道施設が適切に維持管理されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A ・水質検査を実施した件数（検査機関へ依頼した件数）	件	48	48	48	48	
	B ・上水道施設の補修件数	件	9	10	3	5	
	成果指標	C ・水質基準値を超えた検査項目の件数	件	0	0	0	0
		D ・上水道施設の管理機器の故障による事故件数	件	0	0	0	0
事業費 計			40,907	35,028	133,740	108,922	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		8,585	8,903	8,141	8,132
		オ 一般		32,322	26,125	125,599	100,790

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	現状の成果は、重大な事故件数 = 0件であり、これ以上の成果指標の向上余地はない。
	【成果指標の状況】 向上（最高状態維持含む） 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

上水道施設整備事業

[453]

水道事業会計

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0203	実施計画	対象
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<ul style="list-style-type: none"> 水道利用者及び水道利用可能者 上水道施設 	<p>開発事業(区画整理、宅地分譲等)、経年管の布設状況、配水施設の稼働状況に基づいて、下記の工事を行なう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 新規配水管(耐震管)の布設工事 既設配水管の布設替(耐震化)工事 幹線水道管等の耐震化工事 配水施設(配水場等)の設備改良、更新及び耐震化工事 <p>整備費用は、直営負担の場合と、開発事業者等の負担(一部負担)の場合がある。</p> <p>財源不足により施設更新を鈍化させないとの考えの下、必要な財源を確保するため、令和2年度より企業債を発行する。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

・配水管が計画的に整備され、安全・安定的に水道が利用できる。
・配水施設・経年管を更新及び耐震化し、被害の未然防止が図られる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 整備配水管の延長	m	6,038	6,513	4,560	4,953	
	B 配水施設等改良、更新及び耐震化、補強件数	件	1	1	1	0	
	成果指標	C 幹線管路の耐震化率	%	30.3	32.6	33.2	35.4
		D 配水施設・経年管における不具合・トラブル件数	件	0	0	0	0
事業費 計			482,712	617,978	669,043	472,977	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債				110,000	110,000
		エ その他		39,849	76,829	143,830	16,388
		オ 一般		442,863	541,149	415,213	346,589

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>幹線管路の耐震化率は、令和元年度の実績に比べ2.8ポイント上昇し35.4%となった。</p> <p>また、水道利用者に影響を与えるような配水施設、経年管等における大きな不具合やトラブルはなかった。</p> <p>配水管の新設及び布設替え延長の増加は、耐震化率の上昇に直結する。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	引き続き耐震化への布設替による老朽管の更新と幹線水道管の耐震化を計画的に実施します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
計画的な布設替による老朽管の更新と幹線水道管の耐震化を実施した。			

給水管維持管理事業

[454]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0204	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	災害に負けないたくましい水道（強靱）	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・水道利用者 ・給・配水管 意図(対象をどのような状態にしたいのか) ・給配水管等を補修し水の安定供給ができています。	<給水管・配水管等の修繕工事手順> ・市役所開庁時(平日) 市民等からの漏水情報(電話連絡等)により管工事業協同組合が現場確認 漏水原因の調査及び修繕方法の検討 状況により修繕工事業者の派遣を管工事業協同組合に依頼 工事業者と打合せ後、工事施工 工事完了確認 ・市役所開庁時(夜間、休日) 待機、受付、立会業務については管工事業協同組合に委託 市民、宿直等からの漏水情報により当番職員が現場確認 現場状況を市に報告。市の依頼により修繕工事業者の手配 修繕工事施工 工事完了報告

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 給水管の布設替件数	件	32	37	30	52	
	B 給水・配水管の補修件数	件	220	227	140	222	
	成果指標	C 修繕率	%	0.85	0.76	0.61	0.73
		D 有収率	%	95.19	93.99	96	94.21
事業費 計		千円	70,549	73,480	79,194	71,844	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債		1,047		
			エ その他	1,453		1,267	972
		オ 一般	69,096	72,433	77,927	70,872	

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が中程度	・高度成長期の住宅建設に伴い設置した給水装置の老朽化に伴う漏水は継続的に発生しており、補修件数(修繕率)はほぼ横ばいとなっている。 ・補修の多くは水道メーター周りでの止水栓不良が多く、敷地内での工事となるため、計画的な更新事業ができない。 ・管工事業協同組合員の高齢化や事業縮小(機械レンタル、配管工の下請化)が進み、緊急修繕体制の維持が難しくなってきている。
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0302	実施計画	
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	03	いつまでも続く安定した水道（持続）	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	企業債の残高・償還元金・利子	償還元金 償還期間に応じて、元利均等又は元金均等の償還方法にて支払いをする。 令和元年度末の借入状況 財務省 5件 298,814,487円 地方公共団体金融機構 6件 81,375,955円
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	償還利子 借入残高に応じて、約定利息分を償還利子として支払いをする。 利率 3.15%から5.65%
	安定的な事業経営のための必要な収入を確保するため、又、世代間負担の公平を確保するための企業債について、その残高や償還元金が、財務的に安全といえる額となっている。	施設更新を鈍化させないとの考えの下、必要な収入を確保するため、企業再発行が必要と考えられる令和2年度より、新たな企業債を発行する。 令和2年度 110,000,000円起債予定

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A					
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計				141,825	137,177	137,132
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		141,825	137,177	137,132

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	水道施設の強靱化を計画的に進めるにあたり、計画的に財源を確保する必要があるため起債。施設更新に係る財源不足を解消し、事業が滞りなく遂行できた。
--------	---	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

受水事業

[457]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0902	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	簡易評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>・水道利用者</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・県水が安定的に受水できている。</p>	<p>尾張旭市は、県営水道から水を購入(受水)し、各戸へ供給している。</p> <p>・県営水道に対し毎年度、次の事務を行う。</p> <p>次年度の承認基本水量の承認を受ける。</p> <p><手順></p> <p>給水人口、1日最大給水量等需要量の予測を行う。</p> <p>8月中旬...県営水道のヒアリングを受け、その後変更及び給水申込を行う。</p> <p>11月下旬...県営水道より承認を受ける。</p> <p>・毎年度10月下旬までに行う事務 (県水受水費算定のため)</p> <p>前年度の給水人口及び年間配水量確定届を県営水道へ提出する。</p> <p>当年度末の給水人口、年間配水量を予測し県営水道へ協議書を提出する。</p> <p>次年度の年間受水計画書(月別の1日最大受水量等の需要量を予測)を県営水道へ提出する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績
活動指標	A・年間総受水量	立方メートル	8,561,405	8,598,776	8,560,000	8,895,981
	B					
成果指標	C					
	D					
事業費 計			601,292	605,086	617,200	619,886
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		601,292	605,086	617,200

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>
--------	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

水道料金徴収事業

[458]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0903	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要 (目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象 (誰、何に対して事業を行うのか)	手段 (事務事業の内容、やり方、手順)
	水道利用者	水道料金検針から徴収に至る業務を効率的に行う。 ・水道利用者からの水道利用開始及び中止申請を受け、開閉栓作業を実施 ・市内を東西2地区に分け、東地区を奇数月、西地区を偶数月とし、それぞれ隔月に検針を実施(検針期間：毎月5日～10日) ・使用水量確定後、水道料金の計算及び決定(毎月25日頃)
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	・徴収方法 口座振替 検針月の翌月25日振替、振替不能の場合、翌々月10日再振替 納付書支払 納期限：検針月の翌月末 納付場所：金融機関及びコンビニの窓口 ・検針の精度を維持するため、量水器(メーター)の定期取替を毎年4～2月に実施 (取替対象：有効期間満了(8年)となる量水器、民間に委託)
	水道料金徴収が確実に行われています。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 水道料金調定件数 (検針件数)	件	175,373	177,521	180,700	175,000	
	B 督促状送付件数	件		6,262	6,850	5,523	
成果指標	C 水道料金収納率 (現年分)	%		99.6	99.6	99.6	
	D			6,445			
事業費 計			103,697	102,178	109,887	97,283	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		103,697	102,178	109,887	97,283

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	活動指標、成果指標ともに、料金徴収の流れに沿った事務を行っており、その他の料金徴収の面から数値を向上させる余地は少ない。 成果指標Cは数値未確定 (6月7日頃確定)
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	徴収漏れ等が生じないよう適切な料金徴収を行います。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
料金徴収の流れに沿った事務を適切に行い、不納欠損事務においても再勧奨を行うなど、適切な料金徴収を実施した。			

地域水道ビジョン推進事業

[1136]

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	33-0904	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	給水区域内の水道利用者	水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価した上で、目指すべき将来像を描き、その実現のための具体的方策等を示すものとして、平成20年3月に「尾張旭市水道ビジョン(計画期間10年間)」を策定した。 平成25年3月に、厚生労働省において、将来の人口減少等水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン」を全面的に見直した「新水道ビジョン」が策定され、平成26年5月に「新水道ビジョン推進のためのロードマップ」が作成されたことを受け、平成30年3月に「尾張旭市新水道ビジョン(計画期間10年間)」を策定した。新水道ビジョンが示す安全、強靱、持続の3つの観点に基づき事業の進捗管理を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<事業計画> 平成20年3月:「尾張旭市水道ビジョン」策定 平成20年度以降は、進捗状況の管理を行う。 平成29年3月:「水道施設長寿命化計画」策定 平成30年2月:「経営戦略」策定 平成30年3月:「尾張旭市新水道ビジョン」策定 平成30年度以降は、進捗状況の管理を行う。
	健全な経営状態のもと、老朽管の計画的な更新がなされ、水道利用者へ安全で安定した水道水の供給が行われている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A 水道ビジョン達成を確認する業務指標数	件		8	8	8	
	B 水道ビジョン達成への実現方策数	件		20	20	20	
	成果指標	C 水道ビジョン業務指標の達成率	%		75	100	63
		D 水道ビジョン達成への実現方策実現率	%		20	85	75
事業費 計							
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般					

R02年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>業務指標の達成率については、直結給水率、有効率、管路の更新率において計画値におよばず、前年度より12%低下した。 実現方策実現率については、20の項目に対し段階的に取り組みを実施し、75%まで向上した。</p>
--------	--	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	尾張旭市新水道ビジョンの実現方策について、スケジュールに遅延がないよう進行管理します。		
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
一部未実施の項目があるが、ほぼ計画どおりに事業を推進している。			

水道事業会計繰出金

[1297]

事業の位置づけ

一般会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	97-0106	実施計画	
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	水道事業会計	繰出し基準に基づく繰出金があれば、一般会計から水道事業会計へ繰り出す。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
水道事業会計へ適切な繰出しを行うことによって、水道事業が円滑に運営できている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A						
	B						
成果指標	C						
	D						
事業費 計		千円		12,600			
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般		12,600			

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	--

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

水道事業会計

政策	03	快適な生活を支えるまちづくり	事務事業コード	99-0505	実施計画
施策	03	安全で安定した水の供給	評価区分	評価対象外	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	都市整備部 上水道課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (02年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

課の庶務事務、課員

文書の收受(500件、70時間) 文書の発送(600件、100時間)
 庁内文書の処理(3,000件、150時間) 庁内外の照会文書の調査・報告(100件、50時間) 行政評価の管理(100時間) 出張命令の整理(10時間) 課内の備品・消耗品の調達・管理(10時間) 会計事務(支払伝票作成、1,200件、140時間)(収入・振替伝票作成、1,100件、90時間) 予算、決算に関する事務(2,000時間) 文書等コピー・印刷・製本(20時間) 公用車の管理(20時間) 郵便物の発送(30時間) 電算機器、無線機等の管理(5時間) 会議・研修会参加事務(10時間) 各種賠償保険に関する事務(5時間) 作業服・防寒服の購入(5時間) 各種入札・契約事務(決裁 指名通知 配布 入札 契約 台帳整理、50件、200時間) 資産管理事務(新規登録、除却、減価償却：70時間)

上水道課の庶務的な事務が迅速かつ適正に進んでいる。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	30年度実績	元年度実績	02年度当初	02年度実績	
活動指標	A						
	B						
	成果指標	C					
		D					
事業費 計			489,696	350,752	405,708	349,278	
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		489,696	350,752	405,708	349,278

R02年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

R02年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	R02年度実施取組方針	本部方向性	維持
	R02年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定